宇久中だより2017

佐世保市立宇久中学校　学校通信
（平成２９年１１月４号）
文責　校長　田雑　健
平成 29 年 11 月 24 日(金)発行

学校教育目標　：　ふるさとを愛し、主体的に学習し、自らの判断で正しく行動できる生徒
めざす生徒像　：　素直で心豊かな生徒　・　自ら考え、主体的に学ぶ生徒　・　強くたくましい生徒
宇久中生徒の5励行　：　心のこもったあいさつをする　授業に集中する　生徒会活動や部活動に励む　大きな声で校歌を歌う　清掃活動に力を入れる

いざ、本番

１１月１５日（水）、佐世保市中学校音楽発表会が無事終了しました。

校内で何度も歌声は耳にしていましたが、さて本番でどのくらい声が出せるかなと少々心配していました。午後の２番手ということで、会場入りして即リハーサル、これはますます緊張しているのではとこちらはハラハラドキドキしていました。いよいよ本校の合唱、とても美しい歌声でした。迫力はさすがに人数の影響が大きいので仕方ないのですが、「美しさ」という点ではどの学校にも遜色なかったと思います。アルカスという大舞台でよく頑張りました。

解散式でも話したように、夏休み以降、体育大会、文化祭、駅伝大会、そして音楽発表会と準備・練習を積んで、その成果を発表するタイプの行事が続きました。それぞれの行事には目的があります。目的を達成することができたかという振り返りも大切です。一方、各行事共通している目的が**「本番に強くなる」**ということです。もちろん本番までに積み重ねてきた工夫や努力の価値を否定するものではありません。今の皆さんにはそれも貴重な財産です。ただ、「ここが本番」「ここが勝負どころ」という１度しかない機会に向けて力を高め、全力を出し切るということもこれから多く求められてきます。

さあ、あなたの次の「本番」に向けて１日１日力をつけていきましょう。

こちらも本番でした

隣の記事で「本番」「本番」と書いていましたが、ここにも「本番」がありました。第３回定期テストです。２２日（水）と本日の２日間に分けて５教科が実施されました。

計画的に受験勉強に取り組めたでしょうか？

世の中には勉強法や受験対策の手立てが数多く紹介されています。予習重視なのか復習重視なのか、ノートの活用方法はどうだとか、考え方の違いはありますが、「無計画に、手当たり次第にやればいい！」と薦めている勉強法、受験対策は見たことがありません。

限られた時間の中で、目的・目標を達成するためには、やはり計画を立て、こつこつと実施していくのが一番だと私は思っています。こつこつやっていく中で、いろいろな知識が身に付いてくる中で、それらの知識が関連しあって新たな閃きにつながる。そういう経験もしてきました。

３年生は３者面談を経て、志望校合格に向けて、更に高校進学後の学習に対応できる力を付けるために、頑張ってほしいし、１・２年生には今後の自分の「夢・憧れ・志」達成に向けて目先の一歩を確実に進めてほしい。そろそろ冬です。「冬に耐える者が春に笑う」、自分の目指すところに向かって頑張りましょう。

響け歌声
佐世保市中学校
音楽発表会

１１月１５日（水）、アルカスSASEBOにて佐世保市中学校音楽発表会が開催されました。今年度は佐世保市内の中学校に加え、佐々町立佐々中学校も参加しました。

本校は午後の２番手。１０時過ぎに佐世保港に到着し、練習、昼食を終え会場に移動しました。

港到着後の練習風景

２番手ということで、会場到着後すぐからリハーサルに入り、緊張が高まったところで１３：００午後の部開始。早岐中の発表が終わり、いよいよ本番です。声が出るかなとちょっと心配していたのですが、男女ともとても美しい歌声を響かせてくれました。なかなかの舞台度胸でした。

その後は、さすがにほっとした面持ちで各校の発表に聞き入っていました。特色を生かしたすばらしい発表が続き、それらを生で見聞できたことも大きな成果であったと思います。

１１月は行事が続き、保護者の皆様にはそのつどご理解・ご支援を賜り、誠にありがとうございます。今回も船便の都合とはいえ、早朝から夜遅い時間まで送迎等にお気遣いをいただきありがとうございました。

ココロねっこ 10
学校・ＰＴＡ行事や地域行事に、すすんで参加しましょう。

子どもたちは、生活体験、自然体験、社会体験等の直接体験を重ねることによって、コミュニケーション能力や協調・協力の態度などの人との関わり方を学び、郷土や他者への思いや、生きる智恵を育み身に付けていきます。

しかし現代の子どもはこのような体験が不足していることが指摘されており、子どもの問題行動等の背景にあるとも言われています。また、子どもたちが日常的に群れ遊びや直接体験の機会を持つことが難しくなっている現状があります。

●親が育つ、子も育つ

このような子どもたちの成育環境において、親自らが学校・ＰＴＡ行事や地域行事に参加したり、親子で参加することは、身近な直接体験の機会となりますし、親が周囲の人たちと協力する姿は子どもにとって生きた教科書です。

社会の中で他者と協力しながら生きていく力を身に付けることは、子どもの自立のためには欠かせません。

身近な学校・ＰＴＡ，地域の行事に積極的に参加してみましょう。親同士も新鮮な出会いや楽しさの発見があり、親育ちの貴重な機会となることでしょう。

出典：「ココロねっこ運動」長崎県青少年育成県民会議より

「星の王子様」公演については、次週発行の12月1号で紹介いたします。